

Get Your Dream



進路の集会(推薦について、国公立の順序づけ、学校案内パンフレット配布)がありました。

先日10月9日(水)夕方で、第2回進路希望調査が行われました。真剣に考えて提出することができたでしょうか。第1回の際に比べ、だいぶ自分事として捉えている人が増えたようで、最近色々な人の口から「推薦」とか「私立」「公立」「高専」なんていう言葉が聞こえてくるようになってきました。

そこで開いた集会なのですが、確認としてもう一度押さえておきましょう。

推薦制(推薦入試)について

推薦入学を希望する場合は、進学しようとする学校(学科・コース)への進学目的がはっきりしていて、入学後、学校のリーダーとなれるような生徒が望ましく、各高等学校の推薦条件に合った生徒である必要があります。さらに、中学校の推薦要件も満たしている必要があります。

入学後、一般入試で入学した生徒以上に、学習や活動に積極的に取り組むことが望まれ、一般入試で合格できる学力も必要です。入学を強く希望しての推薦のため、私立高校では1月31日(金)の入試を受ける学校がほとんどです。

また、推薦で出願しても必ず合格するわけではないことに注意してください。例年、推薦入試で不合格になり一般入試で再チャレンジする生徒がいます。

- ◎出願に際しては、**家庭でよく相談**(志望動機は?、推薦要件は?)し、**担任に相談**する。
(第3回進路希望調査に記入し、11月22日(金)までに希望について申し出、希望願いを提出。)

- ・学力試験ではなく、「調査書」「推薦書」「面接」の結果を資料として合否を決定。
「実技」や「作文」を実施する学校もあります。
- ・高校の提示する「推薦要件」を満たすことが必要。
(高校からの募集要項を確認してください。)
- ・中学校の提示する「推薦要件」を満たすことが必要。(裏面参照)
- ・推薦を希望しても、**全ての人が推薦されるとは限りません。**
(※推薦要件を満たしていない生徒は推薦できません。)
- ・中学校から推薦されても、**全ての人が合格するわけではありません。**
- ・推薦入試で合格内定とならなかった場合でも、一般入試で再受験することができます。
- ・**推薦入試で合格内定した学校には、必ず進学します。(併願推薦を除く)**
- ・推薦入試当日の引率は、保護者の方にお問い合わせすることになります。
- ・合格内定はあくまで「内定」であり、合格ではありません。**内定後も、他の生徒の模範になるような生活態度、学習態度で学校生活を送ってください。**



私立・公立・国立合格時の進学について

- ①私立合格時 専願：必ずその私立高校に進学します。(この後、他校は受験できません。)
併願：国公立高校の受験は可能です。(国公立高校不合格の場合は私立に進学します。)
(専願、併願どちらの場合も入学金を納入してもらいます。)
- ②国立(金大附属・石高専)合格時 **必ず**国立高校などに進学します。
(私立・公立への進学はできません。)
- ③公立合格時 **必ず**公立高校に進学します。(私立への進学はできません。)

私立高校のパンフレット配布について

私立高校のパンフレットを配布しました。内容をしっかり読み、受験の日程やしゅみなどを確認しておいて下さい。特に受験を考えている高校については学校説明会などがあるところもありますので参加するのも良いと思います。

推薦入学の流れ（予定）

